

うさか寮の野



〒930-0143
富山県富山市西金屋6682番地
社会福祉法人めひの野園
TEL.076-436-0270
発行責任者 中田 匠
(表題書)
高岡市中川上町3の31
(故)杜市 萩水先生



うさか寮大規模修繕工事完工にあたつて
妻谷 直子 (うさか寮保護者)
長い間、待望していたうさか寮の改修工事が無事に終わりました。私は、めひの野園30周年記念式と同時に挙行された完工記念式に大きな喜びを胸に、参加させていただきました。

東日本大震災後の厳しい状況の中で、無事完工できましたのは、理事長先生、園長先生のご決断と、並々ならぬご尽力、そして関係の皆様が、一丸となつて取り組んでいたいたおかげであります感謝の念でいっぱいです。

取り組みの課程で、園長先生が、先行き不安な親の思いを受けとめてくださり、終の棲家と考えてくださつてることや、「完工後はソフト面を充実させていきたい。」と話してくださつたことが、励みと喜びになつております。

新しくなつた寮は、個室が主であり、一人ひとりの個性を大切にしてくださつていますので、より一層安定した、快適な居場所になつていくと思つています。

私の息子は、こだわりが強く、生活環境の変化が苦手なので心配しておりました。しかし、新しい環境への戸惑いや、こだわりはありませんが、表情も明るく、穏やかで安定した様子が見られます。これも先生方の温かい対応の賜物であると感謝しています。
これからも親として、できるかぎりの協力をさせていただきたいと思つております。
完工にあたり、関係の皆様に、心よりお礼を申し上げます。

表紙写真(上)は大規模修繕工事が完工した秋空の下のうさか寮。写真(下)は春の苑屋上からのパノラマ。遠景には先日開通した「新湊大橋」が見える。

新湊大橋



北陸新幹線





新うさか寮の住み心地はいかが?

~うさか寮大規模修繕工事 10のポイント~

「どんな生活が始まるのかな?」
期待を胸に、新しい部屋への引越しました。

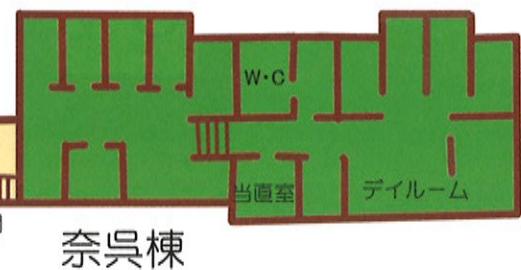
めひの野園を利用されている方の生活の場である「うさか寮」の大規模修繕工事がついに完工し、まるで新築のようにきれいになりました!しかも、ただきれいになつただけではなく、これまでの入所施設とはひと味違い、自閉症の方がより快適に、より安心して暮らせる工夫がいっぱいの施設に生まれ変わったのです!

今回は「個室対応」や、「小ユニット化」といった、新しくなつたうさか寮のポイントを紹介し、新しい環境の中で始まつた生活の様子をレポートしたいと思います。

Point 1 一人ひとりが快適に過ごせる個室対応!

今回のうさか寮の改築工事で、一番のポイントといえるのは「個室の確保」です。現在、全国でも複数人部屋がほとんどの入所施設の中で、利用者一人ひとりの特性に合わせた個室を確保できたというのはとても大きなことです。

個室が用意されたことで、その人の好みによって、畳の部屋、フローリングの部屋、布団で寝る方、ベッドで寝る方など、生活スタイルを選ぶことができ、また、それぞれの趣味で、テレビやラジオなど、好きなことをして余暇時間を過ごす楽しみができました。



あしつき棟(2F)



みんなで楽しい時間を過ごしていく

明るく開放的になつたデイルームは、食事の時間はもちろん、お茶や余暇の時間など、みんなで楽しむ様々な事に使えそうです。先に完成した女性の棟「あしつき棟」では、さつそくティータイムを皆さんで楽しみました。この日のメニューはカフェオレとケレープ。新しくなつたデイルームでの喫茶は、まるでちょっととしたカフェにでもいるようでした。

Point 2 明るく開放的なデイルーム!
みんなで過ごす時間も大切に。



こちらはちょっとオシャレなフローリングの部屋です。



落ち着いた畳の部屋で、テレビを見ながらのんびり過ごせるようになりました。



うさか寮は、性別や、個々の特性を考慮し、4つのユニット（棟）に分かれています。今回の改築工事では、その4つのユニットごとに、壁や扉の色が統一されました。「奈良棟」は緑色、「二上棟」は青色、「雄神棟」は黄色、そして女性の棟である「あしつき棟」はピンク色です。それぞれの棟を分けすることで、利用者の住む場所が分かりやすくなるようになっています。

また、このように小ユニット化することで、これまでの大人数での集団生活から、10人ほどの小規模の住居の集合体といった形に意識を変え、ユニットごとのより細やかな対応ができるようになります。



以前のうさか寮の玄関は、一ヵ所だけだったので、50人以上の利用者が出入りすると混雑し、下足箱も乱雑でした。しかし、今回の改修では「小ユニット化」が進められ、玄関が各棟に設置されました。各棟から出入りできるようになつたことで混雑は軽減し、移動がスムーズになりました。



トイレや洗面所といった水回りもとてもきれいになり、使い勝手もよくなりました。トイレに物が詰まつた時も取り除きやすくなつていて、洗面台には歯磨きコップ入れが備わっています。収納にも工夫がいっぱいです。洗面所は温水が出るようになり、冬場の洗面も快適です。



あしつき棟完成後の、保護者の方への内覧会では「まるで新築みたいやわ～。」との声が。

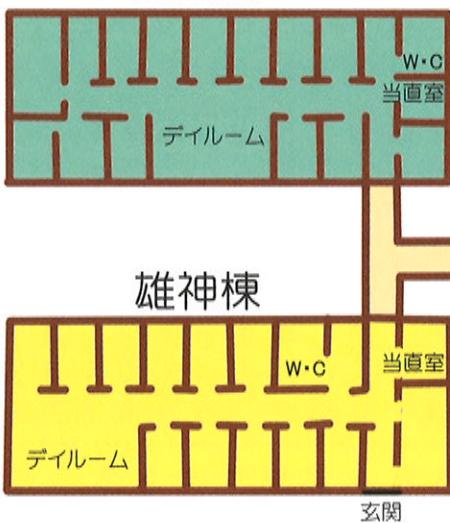
一人ひとりの趣味や、安全に配慮した居室作りが進められていました。

Point 3 小ユニット化で、特性に合わせたグループ分けを

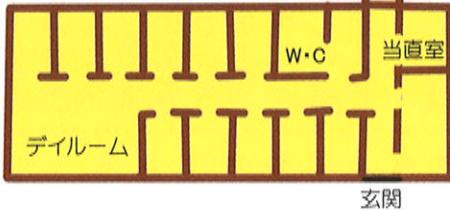
Point 4 玄関もきれいに！出入りもスマートズ。

Point 5 清潔で使いやすくなつたトイレと洗面所

二上棟



雄神棟



Point 6 職員室はコンパクトに。各棟での支援の強化を！

以前と比べて職員室は少し小さくなりました。職員一人ずつに用意されていたデスクもなくなり、職員共用の作業机のみです。その分を利用者の居住スペースに回し、職員は自分が担当する棟での支援への意識を高めることになります。

Point 7 保護者との協力体制で、より安心・安全な暮らしを

今回の改修では、個室を確保し、利用者個々の趣味、余暇時間の過ごし方への配慮をすることに加えて、柔らかい壁を用意したり、割れにくいガラスを使用するといった、利用者の安全面についても考慮されました。そのため欠かせなかつたのが、保護者の皆さんとの話し合いでした。懇談会では、「うちの子、テレビが好きやからね～。テレビはやっぱり付けてほしいわ。」「ベッドは頑丈な物にしてもらわんと！」といった意見が出され、そういった要望をもとに、

うさか寮大規模修繕工事10のポイントも残るは3つになりました。ここからは、「これからうさか寮」についてのポイントです。

Point 8 職員の意識も高まつた！

これからやつてみたいあんなこと、こんなこと

新しくなったうさか寮での生活が始まり、職員に感想を聞くと、「これまで利用者が自分の部屋で好きなテレビを見て過ごすことは考えたこともなかつた。」「利用者の暮らしをもっと充実させるためにはどうしたらしいのかを考えるようになつた。」といった声が聞かれました。そこで、新しくなつたうさか寮で、これからどんなことをやつてみたいか聞いてみると、「きれいにまたデイルームで、中庭の桜を眺めながら花見パーティーを作りてみたい。」「みんなで手作りのおやつを作つて、ティータイムをしたい。」という声が聞かれました。環境が新しくなつて職員の意識も高まつたようです。「こんなことをしたら、利用者はもつと楽しいのではないか」と思うことに、どんどん挑戦していきたいと思いま



利用者が作業に出かけた後のうさか寮内。みんなの帰りを静かに待っています…。

Point 9 ハード面の次はソフト面の充実を！

めひの野園が開設当初から力を注いできたのは「自閉症の方に、住まいの場と、それそれに合った仕事ができる場を作つてあげよう！」とした。働く場として、「作業センターふじなみ」「ウオーム・ワークやぶなみ」「みしまの工房」「やねのうえのガチョウ」という事業所があり、そして「住まいの場」として利用者の暮らしを支えてきたのが、

うさか寮でした。自閉症の方にとって、「働く場」と「生活の場」をしつかり分ける「職住分离」はとても大切なことで、今回の修繕工事により、「働く場」、「生活の場」両方のハード面での整備は整いました。これらは、職員の資質を高めるなどのソフト面の充実を目指し、利用者の生活が、より充実しました。うさか寮改修を終えて

Point 10 うさか寮 東施設長が語る「うさか寮改修を終えて」

想像してみてください。長年住み慣れた環境が変わることからくる自閉症の人たちの生き辛さを。その改修が、無事終了しました。自閉症の人たちの支援において環境調整は大変重要なポイントです。折角改修の機会をいただいたわけですから妥協は許されません。設計・建築・支援のプロと保護者が集まり、意見を戦わせながら改修が進められました。各専門家が様々な角度から見ることで、いろんなアイディアが生まれ、細かい配慮のされた優しい空間に生まれ変わりました。現在の利用者たちの笑顔がそれを物語っています。

最後に、うさか寮の東施設長に、今回の改修工事のペジをまとめてもらいたいと思います。

たものになるよう取り組んでいきたいと思います。

群竹

「今年のりんどう祭はひと味違う！」

今年のりんどう祭は、めひの野園が設立30周年と節目の年

ということもあり、例年以上に

盛り上げていきたいと準備を

進めています。

今回のテーマは「めひの野園30周年の歩み」と題して、今まで支えてくださったすべての皆

様に「ありがとうございます」

後ともよろしくお願いします

という意味も込めて、楽しんで

もらえる内容にしたいと思って

います。

まず、ステージでは、子どもたちに大人気の「ウルトラセブンショー」が今回の目玉企画です。

また、富山県内の「ご当地ゆるキャラ大集合」と題して、めひの野園のマスコットキャラクター

である、めひロー君、めひなちゃんも緊急参戦します。地域か

らは、かわいい子ども達のダン

スや、富山県内では誰もが一度

耳にしたことがあるよさい

チームの「風神」もやつきます。

澤山のゲストで、会場を盛り上げたいと考えています。11月3日は、皆様のご来場をお待ちしています！

(りんどう祭実行委員長)

石田 浩二

地鶴」を使用した料理や、デカメロンパン、移動販売車(たこ焼き、生ジュース)など、昨年度よりも更にバージョンアップし、皆様に満足してもらえるような内容を、自信を持ってご利用させて頂きました。

また、昨年度同様に、「NGOアジア子どもの夢 東日本大震災支援プロジェクト」として、復興支援チャリティーを開催し、各方面で活躍されている「東北エイド」を招待しました。春の苑前で、炊き出しや、グッズの販売を行い、その後売り上げ一部を、東日本復興支援に募金として送りたいと考えています。

来場されるお客様に満足していただくため、職員一同、致团结して、りんどう祭を盛り上げたいと思います。11月3日は、皆様のご来場をお待ちしています！

模擬店では、大好評の「飛脚

は耳にしたことがあるよさい

チームの「風神」もやつきます。

澤山のゲストで、会場を盛り上げたいと考えております。

この改修を通じ、互いを尊重し合い、チームで仕事をすることのすばらしさと無限の可能性を感じました。これからもめひのチームで、利用者一人ひとりの幸せを追求していきたいと思います。



JASマークが入った新しいパッケージングで販売中の「飛騨地鶏」



やぶなみに掲げられた認定証

JAS規格とは農林水産大臣が制定した日本農林規格のことで「Japanese Agricultural Standard」(日本農林規格)の略です。

農林水産省は、もともと「地鶏肉」の販売表示があいまいだったため、消費者が製品の価値を正当に評価できるよう、「地鶏」を定義づける「地鶏肉特定JAS規格」を平成11年6月12日に制定しました。

JAS規格には、「品質についての基準」「一般JAS規格」と、「生産方法の基準」「特定JAS規格」があり、今回取得した規格は、「特定JAS規格」になります。

走り続けるやぶなみ ～安心！安全！おいしい飛騨地鶏を！～

【地鶏】特定JAS規格を取得！

ウオーム・ワークやぶなみ「飛騨地鶏」が、

地鶏については、農林水産省が地鶏の飼育方法などについて、細かな規定（下記参照）を定めています。

農林水産大臣の認可を受けた登録認定機関が、これに適合する鶏の生産者に対して「地鶏肉の生産行程管理者」として認定します。この「生産行程管理者」が生産する地鶏だけがJAS認定地鶏となるわけです。

いわば、国のお墨付きをもらった地鶏なのです。

JAS規格を取得したメリットは、
① 特定の生産方法や基準を満たす品質を維持している事業者であることを、国が認めた第三者機関が保証。

② 商品の差別化が図れる。

③ 全国共通のルールで運用されるため、全国的な取引にも有利。
④ 第三者機関による年一回以上の監査で、品質管理体制を定期的にチェック。

があげられ、JASマークが入った商品は、常に安心・安全な商品を皆様にお届けしている証といえます。

「JASなのはな直売所」、「道の駅りんりん」、「道の駅 福光」、「めひの野園アンテナショップ」「フレンドリーショップ希望」などでお買い求め頂けます。

是非一度、ご賞味ください！
(ウォーム・ワークやぶなみ 堀 宏二)

【地鶏】特定JAS規格の概要

飼育方法	28日齢から平飼いで飼育したもの
飼育期間	80日以上飼育したもの
飼育密度	28日齢から1mあたり10羽以下で飼育したもの

晴れて特定JAS規格を取得した「飛騨地鶏」。全国の名だたる地鶏に追いつき、そして追い越せるように、「飛騨地鶏」の全国区化を目指し、これからもエンジン全開でいきたいと思いま

す。

しつかりとした歯ごたえ、濃厚な味わいの飛騨地鶏は：

とつておきのNEWS満載のコーナー

とつておき・めひの

30周年記念 利用者 祝賀会



(福)めひの野園30周年記念 利用者祝賀会
あいの風ステップ21さんがヨサコイ踊りでお祝いしてくださいました。(10日)



音楽療法の緒方先生と一緒に歌とダンスで盛り上りました!(13日)



事業所ごとに記念撮影も行いました!



15年以上めひので仕事を頑張っている利用者に表彰状が授与されました。



理事長・園長に利用者から感謝状贈呈。

**利用者と歩んだめひの野園30年。
みんな揃ってお祝いしたよ。**



めひの野園マスコットキャラクター「めひロー」(上)と、30周年を記念して誕生した「めひな」(下)

9月10日(月)は、やぶなみ・ふじなみ・ガチヨウ・梨の木苑、13日(木)には、うさか寮・いわせの・春の苑の利用者が参加して、呉羽ハイツにて記念祝賀会が行われました。おいしい料理をいただきながら、みんなで30周年をお祝いしました。

会場には、めひの野園のマスコットキャラクター「めひロー」「めひな」も登場し、祝賀会を盛り上げてくれました。

両日とも最後に、30年間の感謝を込めて、理事長、園長に利用者から感謝状が手渡されました。

しいたけくん

第27回 うさか寮改修と尖閣問題...の巻



(描・おかちん)



8月25日(土)、やねのうえのガチヨウで「クッキーを作りして、みんなでお茶をしよう」を開催!

この日は、梨の木苑とやねのうえのガチヨウの利用者、計8名が参加しました。

職員に聞いたら、見本を見たりしながら、みんな思い思いのクッキー作りを行いました。

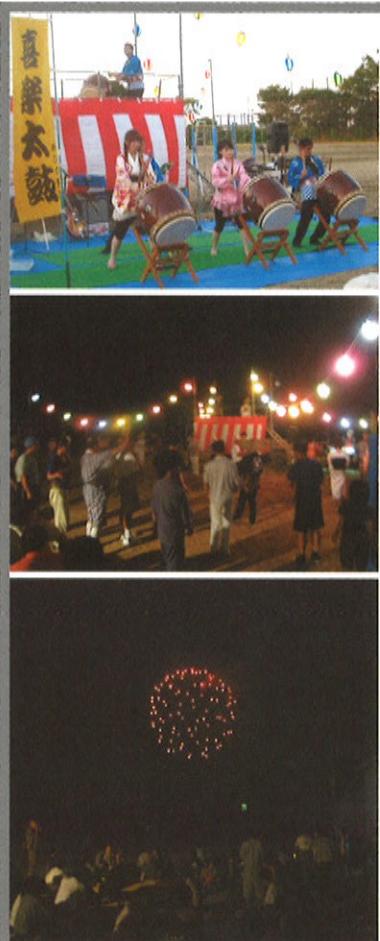
焼きあがった後は、おしゃべりをしながら自分で作ったクッキーをいただきました。

日常生活委員会

手づくりクッキーで
美味しいひととき。

夏まつり花火大会

夏のおかじで、たべさせてくださいよ。



8月24日(金)、夏まつり花火大会が開催されました。喜楽太鼓の演奏で幕が開き、フラダンスや輪踊りなどの催事のほか、飛騨地鶏の串焼きをはじめとした、めひのの美味しいものが勢揃い。締めくくりの花火も夜空いっぱいに咲き、夏の夜を盛り上げました。

